

様式 1

研究報告書（平成 25 年度）

提出者 牧野 雅子

提出年月日 2014 年 3 月 31 日

**【本ユニットにおける研究テーマ】**

和文 性暴力の歴史社会学

英文 The History of Sexual Violence in Japan

**【研究のねらいと目的】**（600 字程度）

本研究は、性暴力を容認・隠蔽し、法の性暴力観を支えてきた歴史的背景を明らかにすることを目的とする。法の制定や運用は、公権力が先導したものか、そうであれば、どのような目的で行われどのような影響を社会に与えたのか。法が当時の社会情勢に影響されていたのだとすれば、それはどのようなものであったのか。

分析対象とするのは、近代法が誕生した明治期以降の性暴力事件を報道する新聞記事、判例や立法議論等の法言説である。新聞に掲載される事件記事からは、加害・被害事実のみならず、被害者の氏名が匿名にされるのはどのような場合か、当事者をどのような論調で報じているのか、性暴力はどのように呼ばれているか、といった、性暴力に対する当時の社会意識が読みとれる。また、性暴力事件を報じることが醇風美俗に反し、報道媒体としての品位を損ねるとして、報道が自重された経緯からは、性暴力被害者に対するスティグマと同様の性暴力観を見ることが出来る。

性暴力の行使を容易にし事件を潜在化させる性暴力被害者に対するスティグマや、性暴力の被害性を軽視し時に容認するかのように働く「暴行」「いたづら」といった性暴力表現の問題は、「現在の問題」でもある。性暴力被害者に対するスティグマや被害性を隠蔽する性暴力表現がどのようにして生まれ、広まり、使用されてきたのかを明らかにすることで、歴史研究としてのみならず、今後の性暴力の抑止議論に繋がっていきたい。

**【研究業績】** 学会報告・論文など

論文

2014 「戦時体制下における出征兵士の妻に対する姦通取締り」『ジェンダーと法』11号（掲載予定）

### 【成果の概要】（800字程度）

研究調査とともに、研究成果を専門外の人たちと共有すべくアウトプットにも力を注いだ。

調査としては、性暴力に対する近代司法の意識・態度を明らかにするため、資料調査を重ねた。また、KUASU次世代研究プロジェクト「帝国日本の戦時性暴力：男性性とナショナリズムによる被害女性構築に関する社会学研究」では、これまでの議論をもとに、太平洋戦争期に国内で国家権力により出征兵士の妻に対する貞操の強要が立法・司法分野においても行われていたことを論文にまとめた。

2013年3月に『刑事司法とジェンダー』（インパクト出版会）を出版後、多くの人と問題意識を共有するとともに、議論を深める機会を持ってきた。例をあげると、「性暴力の歴史社会学、加害者の語り」（『出版ニュース』11月上旬号）、「フロンティア 性暴力をなくすために——刑事司法のあり方を考える」（『人環フォーラム』京都大学大学院人間・環境学研究科33号）、「社会の性暴力認識を変えるために」（『WCKNEWS』ウイメンズカウンセリング京都 19巻69号）等の活字媒体、「性暴力と刑事司法 性暴力加害者の責任を問う」（ウイメンズカウンセリング京都主催 9月23日）、「『刑事司法とジェンダー』合評会——性暴力加害者の責任を問う、ということ」（主催：「帝国日本の戦時性暴力」研究会 共催：京都大学大学院文学研究科アジア親密圏／公共圏教育研究センター 10月20日）、立命館大学生存学研究センター特別企画「戦時性暴力と文学」（2014年3月28日）等のシンポジウムにパネリストとして参加した他、『琉球新報』（7月12日）や「北原みのり 女のワイドショー」（9月23日）といったメディアにおいて性暴力加害者研究について解説した。

2014年3月19日～26日には、アメリカ・ミシガン大学において研究成果を発表し議論する機会を得た。そこでは、Driven by Sexual Desire : Rape and Criminal Investigation in Contemporary Japan と題して Public lecture (Center for Japanese Studies, Rackham Graduate School, Departments of History, Women's Studies 協賛) を行った他、JSIC (Japanese Studies Interdisciplinary Program, Rackham Interdisciplinary Workshop) のゼミや GEDE of Rackham global engagement program : Gender, Sexuality and Violence 等に参加し、学生や研究者と意見交換を行った。

### 【通信欄】